

平成 22 年 2 月 15 日
東京都都市整備局
セブン-イレブンみどりの基金

東京都と「セブン-イレブンみどりの基金」が、 「東京の緑を守ろうプロジェクト」を開始します。

1 プロジェクトの趣旨

東京に残された樹林地等の緑は、かけがえのない都民の共有財産であり、これを将来に引き継いでいくことが重要な課題となっています。

このため、東京都は「10 年後の東京」への実行プログラムに基づき、区市町村と合同で「緑確保の総合的な方針」(以下「方針」。別紙 1) の策定を進めています。

この一環として、緑の保全活動を推進するため、「セブン-イレブンみどりの基金」(以下「基金」。別紙 2) と東京都が協定を締結し、来年度より「東京の緑を守ろうプロジェクト」を立ち上げ、緑の保全に取り組む都民活動の支援を行うものです。

2 プロジェクトの内容

(1) 東京全体の緑の保全を支援する新たな民間団体の創設と活動に対する助成

「基金」は、「方針」の実現を支援する民間団体「(仮称) 東京の緑を守る将来会議」を創設するとともに、その活動費を助成します。

将来会議は、緑の保全に意欲のある樹林地所有者や有識者、NPO 等のメンバーにより構成され、普及啓発のためのパンフレットの発行やシンポジウムの開催、緑に対する都民意識を醸成していくための各種情報提供等を行います。

(2) 地域の緑の保全活動を行う団体への助成

「基金」は、「方針」の趣旨に沿った活動を行う地域の団体を対象に、その活動費の一部を複数年にわたり助成します。

「10 年後の東京」への実行プログラム 2010 事業

本件は、「10 年後の東京」への実行プログラム 2010 において、以下の目標・施策に指定し、重点的に実施している事業です。

目標 1 水と緑の回廊で包まれた、美しいまち東京を復活させる

施策 1 緑あふれる東京を次世代へ継承

「緑確保の総合的な方針(案)」の概要について

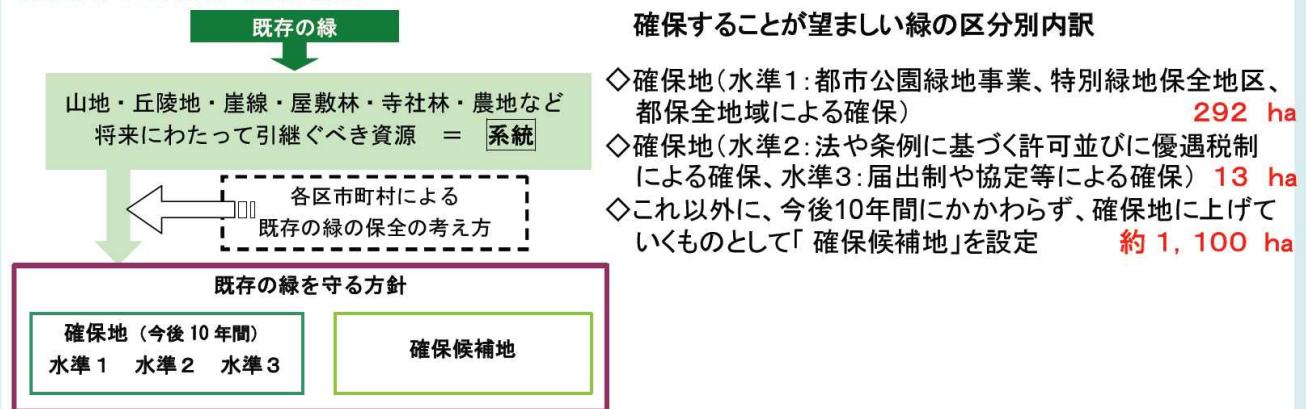
平成22年1月
東京都都市整備局
(区長会、市長会用資料)

別紙1

- ◇ 東京の緑は全体として減少傾向。これまで緑の創出に積極的に取組む一方、減少の主たる要因である既存の緑を守る取組みの方向性は不明確。
- ◇ こうした状況を都と区市町村共通の課題として捉え、都全域にわたる既存の緑への保全の方針と、あらゆる空間に緑を配慮する観点から、まちづくりにおける緑の施策を明らかにするため、都区市町村合同検討委員会等において、これまでにない取組みとして検討を開始。

既存の緑を守る方針（確保することが望ましい緑を明確化）

緑の系統別、都区市町村別、確保区分別に確保することが望ましい緑の箇所、面積をリスト化、5万分の1の図面に記載・公表



緑のまちづくり指針（まちづくりの中で取組む緑施策）

まちづくりに合わせて今後10年間に目指す地域や緑のまちづくりの方向性を示し、あわせて緑化誘導策をリストと1万分の1の図面に示す。

・今回は、緑化誘導策のリストと図面の提示とし、方向性については、今後、緑の基本計画の改定状況を勘案して、とりまとめる。

- ◇ 計画が決定し、今後10年間に緑を創出するまちづくり事業

107箇所(区部74 多摩部33)

新たな施策（先行プロジェクト事例）

既存の緑を一層確保するために

- ①丘陵地の緑の保全
- ②崖線の緑の保全（多摩川由来の崖線をモデル）
- ③特別緑地保全地区（都市緑地法）の指定推進
- ④屋敷林保全プロジェクト
- ⑤都市間・地域間連携プロジェクト
- ⑥民間基金と連携した緑地保全（仮称：東京の緑を守ろうプロジェクト）
- ⑦東京クラインガルテン事業
- ⑧「農の風景育成地区」制度の創設

緑のまちづくりをさらに進めるために

- ①緑化地域制度（都市緑地法）の指定促進
 - ②界わい緑化推進プログラム
 - ③大規模団地の緑の再生
- その他
- ①民間主体の（仮称）「東京の緑を守る将来会議」の創設
 - ②国への法改正の要望（特に税制面）

今後の予定

2月中旬合同検討委員会で方針(案)確認



2月下旬パブリックコメント



4月合同検討委員会で決定



5月公表

別紙2

「セブン-イレブンみどりの基金」について

理 事 長：山本 憲司（セブン-イレブン豊洲店オーナー 東京都江東区）

事 業 目 的：“環境”をテーマに社会貢献に取り組む

事 業 内 容：環境 NPO 支援、自然環境保護・保全、地域環境美化、広報、災害復元支援、広域災害義援金募金活動などの事業

事 業 資 金：セブン-イレブンの店頭に寄せられた募金と(株)セブン-イレブン・ジャパンからの寄付金

* 店頭募金 約 3 億 7 千万円 (2008 年度)

2008 年度までの累計 約 32 億 8 千万円

義援金募金：2009 年 10 月末迄の累計 約 15 億 1 千万円

設 立 日：1993 年 11 月

事業開始日：1994 年 3 月

所 在 地：東京都千代田区二番町 8 番地 8

主な活動実績：

災害復元支援事業…支笏湖周辺台風災害・復興の森づくり (2006 年度～)

自然環境保護・保全事業…九重ふるさと自然学校 (2007 年度～)

環境 NPO 支援事業…公募助成 270 団体、約 2 億 2 千万円 (2009 年度)

環境ボランティアリーダー支援 等

<東京都内での活動実績>

災害復元支援事業

・三宅島の自然の復元と島の復興のための支援

義援金募金…2000 年 6 月に発生した雄山の噴火災害に対して全国のセブン-イレブン加盟店の店頭で義援金募金を行い、約 4300 万円を被災地にお届けしました。

三宅島緑化プロジェクト…2008 年から、NPO 法人園芸アグリセンターが都内の高校や大学と連携して行う植樹活動を支援するとともに、セブン&アイ H L D G S . 社員 250 名による約 8000 本の植樹を行っています。

自然環境保護・保全事業

・東京都千代田区の桜の保護活動…2008 年から、NPO 法人東京樹木医プロジェクトと千代田区さくらセンター事務局が共同で行うサクラの樹勢回復活動を支援しています。

環境 NPO 支援事業…公募助成 16 団体、約 12 百万円 (2009 年度)

【セブン-イレブンみどりの基金 <http://www.7midori.org/>】

以 上